

保育計画成果報告書

法人名等	NPO 法人ぞうさん福祉一の会
施設名	子どものお家 ぞうさん保育園
報告者（役職）	小倉 元気（園長）
住所・連絡先	大阪府池田市緑丘2-6-20
	☎ 072-747-4697
	E-mail zousan@family.zaq.jp

○タイトル（保育計画）

屋外でたくさん体を動かし安全にぐっすり眠ることで、発達の保障と心の安定を図る

○主な助成備品

necocoro baby ベビーマットレス、ロングライトバスG（ノーパンクタイヤ）

1. 保育計画策定の目的

小規模保育施設A型である当園敷地内には、お庭はあるものの面積は決して広いとは言えないために、公園まで行き、充分に楽しませてあげたい思いがあります。しかし近くの公園は少し狭く、団地と隣接しているので子どもが騒ぐと苦情が出ます。離れた公園に行こうにも、園児は0～2歳児であり、子どもの足では40分ほど歩かなければならず、帰りの時間を考慮すると、あそぶ時間はほとんどありません。園には台車が1台あるものの、全員が乗ることができません。

避難車「ロングライトバスG」で、移動の時間を大幅に短縮し、様々な大型遊具で思い切り遊んだり、広い場所でめいっぱい駆け回ることが十分にできるようにし、子ども達の身体的発達をより刺激し、より良い健全な成長につなげたいと考えています。

また、十分に体を動かした後にはお昼寝によって体力の回復や気持ちの安定を図る必要があります。

昨今お昼寝中のSIDSや窒息による事故が問題となっています。当園でもお昼寝時のチェック表をつけるなど対策を取っていますが、ヒューマンエラーを100%防ぐのは難しいと言われています。

「necocoro baby ベビーマットレス」は通常のベビーマットレスに比べ6倍近くの通気性があり、窒息の可能性をより減らすことができます。また、アレルギーによるアトピー肌の子どもの数が増えており、布団の蒸れや刺激によって痒がり眠れないという子どもも少なくありません。

「命を守ること」「質の良い睡眠を確保してあげること」の観点から、安心・安全で心地よい睡眠のためにも、この製品を導入したいと考えました。

たくさん体を動かして遊ぶことにより気持ちの発散と質の高い睡眠ができ、子ども達の心の安定にもつなげ、保育園内での生活だけに限らず、親子関係にも良い影響が出るようにと考えました。

2. 具体的な実施内容

ロングライトバスGを使うことで遠くにあるものを含めた様々な公園に行けるようになり、園外に出る回数自体もずいぶん増えました。0～2歳児の園ということもあり真夏や真冬には長時間の外出ができませんが、気候の良い時には頻繁に外に出ています。

また、子ども達は個別のベビーマットレスを喜び、導入直後は興奮のためか寝つきがあまり良くなかったものの、現在では以前よりもぐっすりと眠れています。

3. その成果と評価

園にはない大型遊具や広いスペースで思い切り遊ぶことで発散するのはもちろんのこと、体の動きがぎこちなかった子どもの身体操作能力が飛躍的に伸びています。

うつ伏せ寝は元来しないようにしていますが、万が一うつ伏せになったとしても窒息の可能性が低いベビーマットであるおかげで保育の安全性が上がりました。

運動と睡眠、2つのポイントが押さえられたおかげで、子ども同士や大人とのやりとりも落ち着いてできる姿が増えました。

4. 今後の課題と展望

たくさん体を動かせるようになったことに甘んじることなく、今後は使えるようになった環境をいかに上手に利用し、さらなる子どもの育ちにどう役立てていけるかをきちんと考えていかなければいけない。

睡眠に関してもベビーマットの機能に甘んじて気を緩めることなく、細心の注意を払いながら見ていくようにしていく。

落ち着いてやり取りできるようになったことを受けて、コミュニケーションの力をしっかり伸ばしていったらいいと思います。

以上

